

企画展

はきもの の 民俗

期間 2025

4/26^土 7/6^日

公益財団法人 仙台市市民文化事業団

仙台市歴史民俗資料館

Sendai City Museum of History and Folklore

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-7(榴岡公園内)

電話022-295-3956 / FAX 022-257-6401

ホームページ: <https://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/>
Eメール: folk muse@deluxe.ocn.ne.jp

【入館料】 一般・大学生 240円(190円)
高校生 180円(140円)
小・中学生 120円(90円)

※()は30名以上の団体料金
※「どこでもパスポート」提示の小・中学生は無料です。
※仙台市内在住の65歳以上の方は無料です。

【開館時間】 午前9時～午後4時45分(入館は午後4時15分まで)

【休館日】 毎週月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)、
毎月第4木曜日



企画展 はきもの民俗

期間：2025年4月26日(土)～7月6日(日)

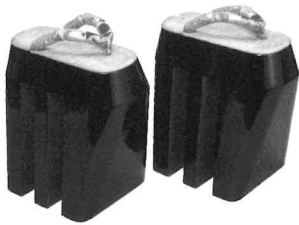
「はきもの」は足に着用するものの総称です。はきものは足・脚を保護することに加え、様々な土地・気候・使用目的に沿って工夫され、作られてきました。企画展では、草鞋など藁等で作られるはきものや、多様な種類のある下駄などを、生業・信仰・芸能・遊び・雪国などの視点から仙台地方の例を中心に紹介するとともに、昭和末期まで仙台で活躍した下駄職人・猪股久三氏のコレクションや職人道具も紹介します。また明治以降の西洋靴の広がりについても触れながら、くらしや社会の移り変わりについて足元から考えます。

※表紙は上から雪下駄、小町、応援団用朴高齒、ツマゴワラジの資料写真を使用しデザインしました。



猪股履物店 昭和55年(1980)撮影

猪股履物店は連坊小路(仙台一高の向かい)にありました。店の前に立つ猪股久三氏は、一から手作りで下駄を製造する仙台最後の職人でした。



花魁道中下駄

猪股久三氏が江戸時代の浮世絵を参考に復元したもの。

下駄スケート

猪股久三氏が製作したもの。下駄スケートは大正時代から昭和初めにかけて仙台地方ではかれました。



半長靴 昭和初期

仙台市榴ヶ岡に兵営があった旧陸軍歩兵第四連隊で将校が使用したもの。明治に入り仙台鎮台(のち第二師団)がおかれた仙台では、軍靴製造指導のために来仙した職人が初めて革靴店を開業しました。

◆関連イベントのご案内

*すべて事前申込不要(入館料がかかります)、会場は仙台市歴史民俗資料館

① 展示解説

日時 2025年4月26日(土)、7月6日(日)
各日11:00～11:30、14:00～14:30

② 体験

「昔のはきものを見て、さわって、はいてみよう」
日時 2025年6月14日(土) 10:00～16:00

③ ミニ講座

(1) 「多様なはきものと仙台のくらし」

日時 2025年5月25日(日) 14:00～15:00

講師 当館学芸員

(2) 「足元に見るくらしの変化」

日時 2025年6月29日(日) 14:00～15:00

講師 当館学芸員

◆会期中のその他イベント

ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん

日時 2025年5月3日(土)～5月5日(月・祝)

季節展示「七夕と盆」

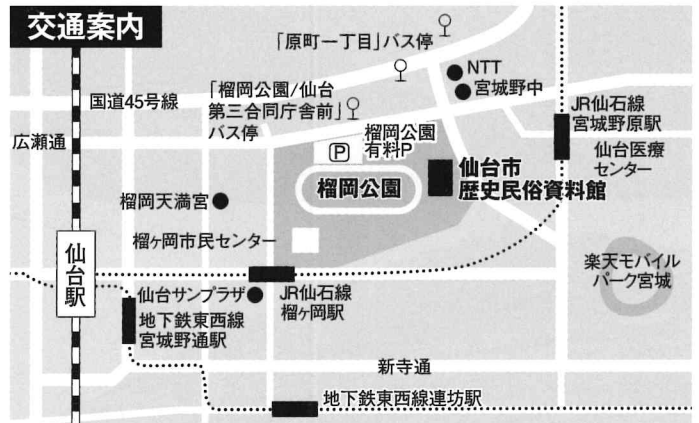
日時 2025年7月5日(土)～8月31日(日)

◆次回特別展のお知らせ

「昭和の仙台～戦争と平和・人々のくらし～」

期間 2025年7月19日(土)～11月9日(日)

交通案内



JR 仙石線「榴ヶ岡駅」下車徒歩約7分

徒歩 仙台駅東口から徒歩約20分

バス 仙台駅西口仙台市営バス50番・51番のりばから乗車、「原町一丁目」下車徒歩約7分または宮城交通バス34番乗り場から宮城野原駅・仙台医療センター一行に乗り、「榴ヶ岡公園」/「仙台第三合同庁舎前」下車徒歩2分

地下鉄 東西線「宮城野原駅」下車、徒歩約17分

※公園駐車場(48台・有料)は混雑することがあります。公共交通機関のご利用をおすすめします。